

オーストラリア金融政策（2019年8月）

3会合ぶりの政策金利据え置き

2019年8月6日

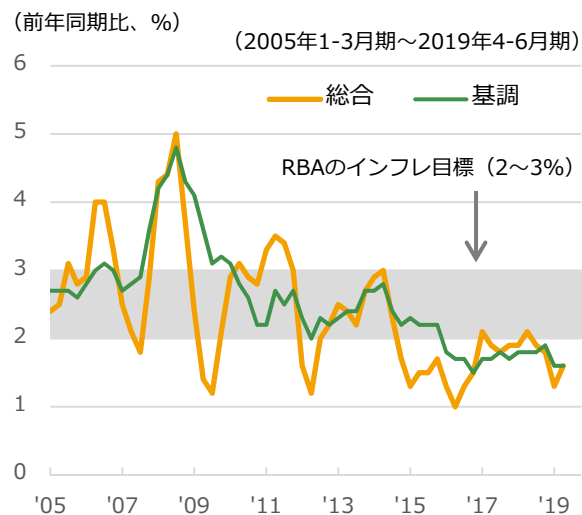
引き続き追加利下げの可能性を示す

2019年8月6日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は政策金利を1.00%に据え置くことを決定しました。RBAは6月と7月に2会合連続で利下げを実施していました。

声明文では、通商政策などの不確実性が高まっていることや、世界経済の下振れリスクが低インフレと相まって多くの中央銀行にさらなる金融緩和期待をもたらしていることに言及しています。また、7月下旬に発表されたオーストラリアの2019年4-6月期の消費者物価指数は、総合・基調ともに市場予想を上回りましたが、RBAはインフレ率が2020年を通して2%をわずかに下回るとの見通しに下方修正しています。そして、失業率を低下させ、同時にインフレ目標を達成するためには、長期にわたって低金利を維持することが必要であると主張しているほか、「必要であればさらに金融緩和を行う」とし、追加利下げの可能性を示唆しています。

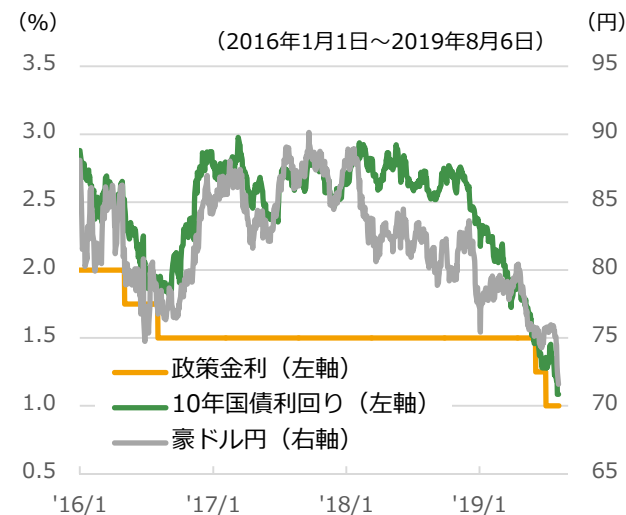
足元の金利低下・豪ドル安は、RBAによる利下げ期待よりも米中の緊張が再び高まっていることによるリスク回避の側面が強いと思われます。そのため、米中が一定の歩み寄りの姿勢を示せば、金利低下・豪ドル安のトレンドも止まることが期待されます。もっとも、世界的に緩和的な金融政策姿勢が支配的であり、RBAに対する追加利下げ期待も根強い中、金利の反発余地は限られると考えています。

オーストラリアの消費者物価指数



※基調とは、消費者物価指数を構成する品目のうち比較的价格変動が大きい品目を除外して計算したトリム平均値。
(出所) オーストラリア統計局

オーストラリアの金利と為替



※政策金利は決定日ベース
※10年国債利回りと豪ドル円は8月5日までのデータ
(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。